



東北大学病院 内科専門研修 プログラム

プログラム統括責任者ご挨拶

内科専門医を目指す先生方は内科プログラムに何を求めるでしょうか？高い専門性、バランスの取れた症例経験、手厚い指導、初期研修からの継続性、研究との両立、いろいろと求めるものが違うと思いますが、できればすべてを備えたプログラムがいいに決まっています。内科専門医を取得するには、希少疾患を含めた十分な症例数の経験が必要ですし、その経験をサポートする十分な数の指導医がすべての領域において必要です。さらに、より高い専門性が求められるこれからの専門医にとって、バックボーンとしての研究歴・博士号の取得はとても重要になっていくでしょう。

東北大学病院内科研修プログラムは、120人を超える指導医が所属し、希少疾患を含め経験できる症例が豊富で、サブスペシャリティの専門研修もシームレスに行えることが可能であり、かつ大学院での研究も視野に入れたプログラムです。すなわち、専門医取得を目指す先生方にとっても、そのあとさらに研究を目指す先生方にとっても、目指す道が確実にそして安心して歩めるプログラムです。

専門医プログラムを決めるこの時期は、自分の将来を考えるととても大切な時期です。自分が目指す専門領域の臨床や研究のキャリアを形成していくためには、どのような環境が望ましいのかよく考えてみてください。東北大学は最良の環境を整えて先生方を待っています。



東北大学病院
内科専門研修
プログラム統括責任者

張替 秀郎

東北大学病院内科専門研修プログラムの特徴



多数の 連携病院

北海道から関東にかけて関連する病院を連携病院として組み込んでおり、東北大学病院プログラムに登録しても、初期研修施設が連携施設であれば、そのまま専門研修を続けることができます。



豊富な症例と 指導医

年間入院患者は約4500名、外来患者は18万5千名となっており、希少疾患を含め経験できる症例が豊富にあります。また、130名を超える指導医が所属しています。



スペシャリスト 一貫教育システム

早期から専門経験を重視したシームレスな「スペシャリスト一貫教育システム」を提案しており、サブスペシャルティの専門研修もシームレスに行うことができます。



学術活動も可能

大学院で学位取得も可能です。



研修医・医学生の 教育に関与

次の世代の育成にも関わります。



地域医療にも貢献

東北の地域医療を各診療科が支えています。これらの連携施設・特別連携施設でも研修します。



宮城県修学資金 貸与生も考慮

修学資金貸与生向けの「地域重点内科コース」があります。指定勤務と専門医取得を最短でサポートします。

東北大学病院内科専門研修の例

いずれのコースでも、基幹施設である東北大学病院で1年以上、連携施設または特別連携施設で1年以上の研修を行います。連携施設・特別連携施設での研修は1ヶ所につき最低3ヶ月以上です。特別連携施設での研修期間は6ヶ月以内とします。

連携施設の選定および時期は、専攻医と診療科（総合内科コースではホスト診療科、地域重点内科コースでは総合地域医療教育支援部および卒後研修センター）で相談して決定します。

1 総合内科コース（希望するサブスペシャルティ領域が未決定の場合）

1年次	2年次	3年次
東北大学	連携・特別連携	東北大学

- ◎将来希望するサブスペシャルティのうち一つをホスト診療科とします。
- ◎連携施設から研修を開始することも可能です。

2 サブスペシャルティ内科重点コース （希望するサブスペシャルティ領域が決まっている場合）

①東北大学病院から研修を開始する場合の例

1年次	2年次	3年次
東北大学	連携・特別連携	東北大学

②連携病院から研修を開始する場合の例

1年次	2年次	3年次
連携・特別連携	連携・特別連携	東北大学

- ◎大学院に入学して専門研修を行うことも可能です。
- ◎②のように連携施設となっている初期研修病院で引き続き専門研修を行い、その後、東北大学で研修を行うことも可能です。

3 地域重点内科コース

（地域医療を中心とした内科研修を行う場合・宮城県修学資金貸与生の場合）

1年次	2年次	3年次
東北大学	連携施設A	連携施設B

- ◎（宮城県修学資金貸与生の場合）連携施設のローテーション期間は1年6ヶ月、特別連携施設のローテーションは6ヶ月とします。修学資金貸与生は宮城県とも協議して修学資金償還の指定勤務とキャリア形成を両立させるように配慮します。

4 内科・サブスペシャルティ内科混合コース

（内科専門研修とサブスペシャルティ研修を同時に進行し、修了時に両専門医の受験資格を得る場合）

1年次	2年次	3年次	4年次
東北大学	連携・特別連携	東北大学	東北大学

- ◎内科研修とサブスペシャルティ研修を同時に行い、4年間の研修期間で内科専攻医およびサブスペシャルティ専門医の両方の受験資格を得ることを目標とします。

東北大学病院内科専門研修プログラムで研修すると…



図書館など
大学の施設が
利用できます



多くのデータ
ベース等が無料で
利用できます



希少疾患など
多様で豊富な
症例を経験
できます

連携施設一覧

連携施設	北海道	帯広第一病院
	青森県	十和田市立中央病院 八戸市立市民病院
	秋田県	大曲厚生医療センター 平鹿総合病院 本荘第一病院
	岩手県	岩手県立胆沢病院 岩手県立磐井病院 岩手県立中央病院 岩手県立中部病院
	山形県	公立置賜総合病院 日本海総合病院 山形県立新庄病院 山形県立中央病院 山形市立病院済生館
	福島県	医療生協わたり病院 いわき市医療センター 太田西ノ内病院 寿泉堂総合病院 白河厚生総合病院 竹田総合病院 福島労災病院 附属総合南東北病院
	宮城県	石巻市立病院 石巻赤十字病院 大崎市民病院 栗原市立栗原中央病院 気仙沼市立病院 坂総合病院 地域医療機能推進機構(JCHO)仙台病院 仙台医療センター 仙台オープン病院 仙台厚生病院 仙台循環器病センター 仙台市立病院 仙台赤十字病院 仙台徳洲会病院 総合南東北病院 東北医科薬科大学病院 東北医科薬科大学若林病院 東北公済病院 東北労災病院 みやぎ県南中核病院 宮城県立がんセンター
	栃木県	国際医療福祉大学病院
	茨城県	水戸医療センター
	埼玉県	自治医科大学附属さいたま医療センター 深谷赤十字病院
特別連携施設	東京都	NTT東日本関東病院
	静岡県	静岡済生会総合病院
特別連携施設	宮城県	石巻市立雄勝診療所 石巻市立牡鹿病院 大崎市民病院鹿島台分院 女川町地域医療センター 川崎町国民健康保険川崎病院 気仙沼市立本吉病院 公立刈田総合病院 公立加美病院 公立黒川病院 国立病院機構宮城病院 栗原市立鷺沢診療所 栗原市立栗駒病院 栗原市立若柳病院 蔵王町国民健康保険蔵王病院 塩竈市立病院 登米市立登米市民病院 登米市立豊里病院 登米市立米谷病院 丸森町国民健康保険丸森病院 美里町立南郷病院 南三陸病院 涌谷町国民健康保険病院

専攻医の声

大学生時代から特徴的な身体徴候のある内分泌疾患に興味を持ち、東北大学病院腎・高血圧・内分泌科に入局しました。負荷試験、副腎静脈サンプリングを含む専門性の高い検査を経験し、内分泌専門分野で日々研鑽を積んでいます。さらに当科通院中の患者のcommon diseaseや合併症が発症した場合は、各内科領域の知識も習得しています。経験豊かな指導医のもとで密度の高い研修を受けています。幅広く、そして奥深い内分泌疾患を学びたい先生方、いつでもご連絡をお待ちしています。



腎・高血圧
内分泌科 白鳥ベアタ

東北大学病院サブスペシャルティ内科重点コース(消化器内科)に所属し、現在、気仙沼市立病院で研修しております。地方病院として幅広い疾患を主治医として担当しつつ、専門性の高い消化器内科としての



消化器内科 岩城 英也

検査・治療も積極的に施行させていただき、3年目の11月現在で内視鏡件数(上下部肝胆膵系も含む)900件ほど勉強させていただきました。内科全般の知識および消化器内科としての専門性も高めることができ、プログラム内容に非常に満足しております。

東北大学病院呼吸器内科には熱心で優しい指導医の先生が多く、内科医としての成長をバックアップしてもらえます。未熟さに反省することも多い日々ですが、相談しやすい先輩方、同期がお



呼吸器内科 小室 英恵

り、楽しく診療することができています。呼吸器内科で扱う疾患は様々な内科疾患を背景に生じるものも多く、内科専門医の症例も集まりやすいと感じます。大学病院では珍しい疾患も集まりますが、common diseaseも多く扱いますので特殊な疾患ばかりに偏るという心配はありません。ぜひ皆さんも一緒に研修しましょう！

募集案内

- 募集人数 55人
- 選考方法 書類審査および面接試験
- 応募書類 東北大学病院内科専門研修プログラム申込書を郵送もしくはEメールにてお申し込みください。(様式はホームページからダウンロード可能です。)

※募集は日本内科学会及び日本専門医機構によるスケジュールに沿って行います。
詳細は、日本内科学会及び東北大学病院卒後研修センターのホームページでご確認ください。

指導医からのメッセージ

感染症は、臓器にとらわれず各科横断的な診療が必要です。COVID-19のように感染症は、個人の問題から時に社会的世界的な問題に発展します。本プログラムでは、感染管理室、微生物検査、薬剤部の協力のもと幅広い知識と技量を持つ医師を育成します。

総合感染症科

青柳 哲史



当科が診る血液疾患は、全身の臓器障害が生じる疾患です。従って、当科の研修では、総合内科医としての実力をつけたいうえで、サブスペシャリティの専門医を目指すことができます。経験豊富な指導医が皆さんを待っています。

血液内科

張替 秀郎



これからは個々の患者さんの病態に応じ、患者さんの全身を診療できる内科診療が必要です。当院内科専門研修プログラムでは、専門科が連携し、専門性と普遍性を兼ね備え思考力のある医師となるべく臨床研修ができます。内科医としての基礎作りの重要な時期に基盤を固め発展につなげることを期待します。

糖尿病代謝科

片桐 秀樹



一般的に高齢者は多病です。従って包括的に評価することが重要であり（CGA）、その上で総合的な内科診療を行うことが求められます。当院の研修で、「治す」臓器別診療のみならず、生活機能重視の「支える」高齢者診療が実践できる内科専門医を目指しませんか。

加齢・老年病科

荒井 啓行



東北大学病院の内科は内科の全ての領域が揃っています。その診療水準は世界レベルで、抜群の効率と深さで内科専門医を取得できます。内科全般の診療能力を上げながら、各科専門医の研鑽が可能です。東北大学病院の内科でより水準が高い医師を目指しましょう。

心療内科

福土 審



東北大学病院内科専門研修プログラムは、東北大学が誇る内科教員陣と関連病院が連携し、幅広い症例経験を通じて、高度な専門性と豊かな人間性を身につけた内科医を養成します。ここから、未来型医療を創生する次世代の内科医が羽ばたくことを期待しています。

腫瘍内科

石岡 千加史



循環器内科では循環器疾患の一次予防・二次予防から最先端医療に至るまで幅広い専門知識の習得と実践的臨床力の獲得を目指し、虚血性心疾患・心不全・不整脈を中心とした循環器領域全体をカバーする研修プログラムを提供します。一緒に循環器内科のエキスパートを目指しましょう

循環器内科

坂田 泰彦



東北大学病院での研修の強みは、高度の専門性、各科連携で最新の医療の学び、多様性を活かす広い選択肢です。腎・高血圧・内分泌科では、必修の疾患から希少疾患まで、熱い指導医が当科ならではの研修プログラムを用意して皆さんをお待ちしています。

腎・高血圧・内分泌科

宮崎 真理子



リウマチ膠原病内科では初期研修で習得した内科の知識と技能を総動員し、全身性疾患の診断と治療を行います。他の内科領域の優れた指導医の先生方にも協力、指導を得ながら幅広く症例を経験できます。全身を診る内科医の育成に努めます。お待ちしております。

リウマチ膠原病内科

藤井 博司



消化器内視鏡などを用いて自分自身で消化器病を見つけ治療するという姿勢を大切に、関連病院と密に連携した豊富な症例を基に、Common diseaseから難治性疾患まで幅広く診ることができる消化器病総合医の育成を行っております。

消化器内科

正宗 淳



2000年以上の歴史の中、数限りないtry and errorが繰り返されて漢方薬は形成された。今や欧米諸国がこぞって学びたがる“漢方の真髄”を学ぶのは今、ここしかない！ 国内でも有数の漢方専門医、指導医が在籍する当科で漢方を学び、一緒に科学し、伝統を継承しよう！

漢方内科

石井 正



内科研修では数多くの症例に接することが重要です。呼吸器内科は喘息やCOPD、肺癌、肺炎といった主要疾患はもとより希少疾患も研修が可能です。サブスペ研修においてもスタッフの質・量ともに充実しています。皆様のご参加をお待ちしています。

呼吸器内科

杉浦 久敏



東北大学病院内科専門研修プログラムは、豊富な症例をベースに、神経内科の基礎から応用まで幅広い臨床力を系統的に養うことが出来ます。関連病院との連携も含め、サブスペシャリティ研修を見据えた柔軟な研修が可能です。皆さんと共に働ける日を楽しみにしています。

脳神経内科

青木 正志



お申し込み・お問い合わせ

東北大学病院卒後研修センター (総務課臨床研修係)

Tel. 022-717-7765 Fax. 022-717-7143

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番1号 ☒ hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp

<https://www.sotuken.hosp.tohoku.ac.jp/>

東北大学病院 卒後

検索